

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDGs 教育を推進しています。

> **さいたま市立 植竹小学校** >>>>>>>>>>

「すすんでまなぶ子」「たすけあう子」「げんきな子」の学校教育目標のもと、今年度、開校74年目を迎え、「児童にとって学びがいのある学校」「保護者にとって頼りがいのある学校」「教職員にとって働きがいのある学校」「地域にとって誇りのもてる学校」の実現に向けて、教育活動を実践しています。



■所在地：さいたま市北区植竹町2丁目1番地 ■電話：048-663-7627
■FAX：048-663-9885 ■交通：JR 宇都宮線土呂駅より徒歩10分

01 地域のよさ、人とのかわりを知る活動



本校では、児童が学区探検や地域めぐり、施設見学を通して、地域の様子やよさ、地域に暮らす方たちとのかわりを知る機会を設けています。低学年の「通学路探検」や「まち探検」では、学校の周りの様子や施設、地域で暮らす方たちと自分たちとのかわりについて学習します。中学年では、自分のまちの素敵などを見つけ、調査し、まとめて発表する学習をしています。活動したことをもとに、児童は自分の住むまちの特徴などを知り、地域のよさを広めるためにできること、自分が地域のためにどんなことができるか考える機会をもちます。



これらの活動を通して、地域で暮らす方々の思いや願いを知るとともに、自分も地域の一員であることを自覚していきます。

02 盆栽のよさ・素晴らしさを実感し、発信する活動



本校の学区には、「盆栽町」があり、古くから盆栽に関する職業に携わる方々がたくさん住んでいます。第5学年の総合的な学習の時間では、「日本の文化を知ろう」と単元設定し、地域の特徴である盆栽について学習しています。児童は、盆栽に関する施設を見学後、自分で課題を設定し、調査、まとめ、発表を行います。



03 地域の特徴的な産業、人材を活用しての活動



本校では、学区内の盆栽の関係施設の方をお招きして、5・6年児童を対象に「盆栽教室」を実施しています。「盆栽教室」は今年で20年目を迎えます。盆栽教室では、盆栽の歴史や見方、種類、育て方等を学習していきます。児童は、盆栽関係施設の方の指導のもと、盆栽ボランティアの方の補助をいただきながら、鉢の植付や剪定など世話の仕方を学び、「マイ盆栽」として、一人一鉢自分の盆栽をつくります。5年生の「マイ盆栽」の苗は、卒業生が選定した枝を挿し木として育て、後輩たちの苗として受け継がれています。毎年地域で開催される「大盆栽まつり」でも、「マイ盆栽」を出品し、地域の方々にも見ていただいています。「マイ盆栽」は、児童の委員会活動や盆栽ボランティアの方々の助けをかりながら、卒業まで継続して世話をし、卒業後も自宅に盆栽を持ち帰り、継続して手入れをしていきます。「マイ盆栽」は、校内の盆栽庭園に並べられ、いつでも自分の盆栽の状況を目にすることができます。低・中学年の児童も、日頃から盆栽庭園の様子を目にすることにより、盆栽をより身近なものに感じられるような環境になっています。

